

山行番 NO. 1686  
日時 2016. 5. 14 (土) 晴れ  
山域 西丹沢 屏風岩山 (1052m・神奈川県山北町)  
コース 下土狩 6:00～サークルK～勝又家～ハローワーク～裾野～上ノ原 (喫茶・一茶) 駐車 7:15  
男子班 3名 = 上ノ原 笹子沢バンガロー (登山口) 7:20～～屏風岩山南東尾根～屏風岩山 9:20  
女子班 3名 = 上ノ原 7:20～大室生神社～二本杉峠～屏風岩山 9:35  
合同 6名 = 屏風岩山 10:00～大滝峠～当滝峠上～一軒家避難小屋 11:00 (昼食) -11:50～大滝  
橋 12:40～ぶなの湯 13:10  
標高差 上り = 上ノ原約 352m～屏風岩山 1052m = 約 700m  
下り = 屏風岩山 1052m～ぶなの湯約 384m = 約 668m  
参加者 南東尾根 = 後藤、勝又陽、沖 二本杉峠 = 勝又薫、浜道、峰田 = 6名

## 新緑に包まれたハイキングは気持ち良かったけれど “Where Have All The Flowers Gone?”

今回の山行は朝 6 時過ぎに小生のマンション前を乗車場所にしてもらいゆったり気分の中で天気も良さそうで朝からルンルンでした。246号線では何時も引かかる信号で何時もの通り引掛かり相変わらずでしたが、土曜日にしては車が多かったような気がします。

丹沢湖へは今年の 4 月のミツバ岳・権現山と 5 月の檜洞丸に次いで小生は 3 回目。檜洞丸では花 (シロヤシオ) に恵まれなかったので屏風岩山ではカラヤンならぬ”カヤラン”は見られるかと期待しながら丹沢湖到着。前回通り駐車場は朝 9 時からで閉鎖。

トイレだけ済ませ登山口のある上ノ原地区まで行き駐車可能場所を探すが駐車場はなく県道から 1 本中に入った道の他に邪魔にならない路肩に駐車。今日の山行は体調不十分で久しぶりの H 女史は二本杉峠ルートで行くとの説明があったが、それではと他の女性 2 名もそっちのルートで登ろうと言うことになり男子組・女子組に分かれて屏風岩山を目差すこととなった。ほぼ予定通りの 7 時 20 分に出発。

われら男子組は、当初の予定通り南尾根ルートで登るが県道から少し入ったとことで？民家に入りそう。ちょっと横を見ると家の向うに道があり、民家の脇を抜けるとその道に出ることが出来た。その道もすぐに終わってしまいまた民家の庭らしき中へ。建物の間を抜けると山にたどり着けそうなので、屋根を修理？しているお兄さんに断って通して貰いやっと山に入った。下山後調べてみたらこの建物は「笹子沢バンガロー」と言い宿泊や BBQ 等をしているらしい。

山に入るとそこは道なき道。どこにも道標のテープとかが無い。まして看板など全く無し。予め地図を見てとにかく尾根から外れないように登って行けば行き着くことは分かっていたが、さすが CL、よく迷わずどんどん行けるものだ。林と低い笹の中の急な尾根を上へ上へと進む。風もなく汗びっしょり、下を向いて行くので汗が眼鏡に付きすぐに見えづらくなるが林間の道で直接太陽が当たらないだけまだいい。

それでも 15 分位登ると道らしいところに出た。進むに従って道が良くなり登山道らしくなる。1 時間位歩いた所で小休止。左の方に見える山が二本杉峠ではないかと CL が女子組に”ヨロレーホー”と呼びかけたが聞こえないようで反応なし。先に進むと道のすぐ横には鹿の防護柵が張られている。左に移った方が良さそうと思ったところで脚立が立っており防護柵を超えられるよ



出発



喫茶「一茶」



下部尾根



三桎は既に種



ヨイコラショっと



うになっていたが脚立の足元が悪くぐらつく。複数人での登山だったので支えて貰っての乗り越えだったが、一人では脚立が倒れそうで危ない、近くの木にでも固定されていれば安心なのに。脚立が倒れたら鉄条網に磔状態になるかも。

道は結構急な登りと緩やかな所が交互になっており、殆ど下り坂がなく効率的な登山道だ。上がるにつれて少し風が出てきて涼しくなってきた。そろそろ頂上が近づいたと思われる坂を上がった所で道が左に折れるところがあったが、CLが右の道らしい開けたところに気づき、もしこの道を下ってきたら正面にその道らしきが見えそちらに進み迷いそうだと倒木を塞ぐように置いた。地図を確認しあと少しで屏風岩山の手前のピークになることを確認。ピークまで行くとその先は急激に落ちている。折角下りの無い効率的な登山道がと思っていたのに最後に裏切られた。30m位下って登り返し、三角点があったのでそこが屏風岩山頂らしいが看板等全くなく確認できない。よく見ると三角点のすぐそばの木の幹に黒マジックで”屏風岩山”と書かれていた(三角点・立派な山名もあるのだから山名と標高を書いた看板くらいはあってもいいと思う・・・眺望が良くないことと相まってさびしい)。

9時20分頃丁度2時間で着いた、予定より30分早かった。今回の屏風岩山南東尾根ルートは、国土地理院地図には記載がなくもう少し厄介な道かなと思っていたが、とっかかりのところを除けば意外といい道で崖を登るようなところもなく、季節も新緑が素晴らしく良い道でした。

山頂は広葉樹に覆われ全く眺望が聞かない。風も出てきて寒くなってきてヤッケを着て日が当たるところで女子組を待つ。携帯を掛けるがこっちは山頂のためアンテナマークが立っているが相手はまだ下にいるようになかなか通じない。何度か試みているうちに通じた。もうすぐ到着するとのこと。



屏風岩山山頂



女子班到着

暫くすると女子組が現れました、意外と早い。15分位の差だ。聞くとこちらからの呼びかけは聞こえなかったようだ。逆に向うからも呼びかけたそうだがこっちにも全然聞こえなかった。下山後地図で距離を調べてみたら水平距離で800m位二本杉ルートの方が長い。15分位の差で到着とは”我が麗峰山の会の女子班恐るべし”です。

今回の山行計画にあった”カヤラン”は全くお目にかかれなかった。女子組も見えてないとのこと。時期が悪かったのか、道から外れた所でひっそり咲いていたのか残念でした（カヤランは木の上の方で咲いていることが多いそうで、下ばかり向いて歩いていたので見つけられなかったのかも。こここのところ花には見放されています）。



カヤラン 2010.05.11 (Hpから)

時間も10時前で昼食には早すぎる。2ルートで登って来たので下山は全員ですることとしたが、どちらかを降りると片方はピストンと言うことになり面白くないので、さすがCL、考え大滝橋に下りると言う。途中で避難小屋があるのでそこで昼食を摂れるとのこと。早速下山を始めた。今までと違って整備された道だ。大滝峠上の畦ヶ丸への分岐までには、これまでと同じく鹿よけの防護柵があったが、乗り越え用の階段は脚立ではなく木で組まれた立派なものだった（残念ながら乗り越える必要はなかったが）。

また、この道は「東海自然歩道」の一部で立派な道標がやたらと多くなってきた。1時間位で一軒家避難小屋に到着。避難小屋の中では何組かが昼食を摂っていたが、明かりが殆ど入らず暗い。小屋のすぐ横に平らな所がありここに陣取って昼食を摂る。時間もたっぷりあり美味しいビアを頂いた。

1時前に下山開始。暫くの間溪流の音と新緑の中を進み気持ちがいい。道は斜面に木の橋で繋いでいるところが多く、これが東海自然歩道でなかったら整備されず通行禁止になっていただろう。川を何度か橋やら石伝いで渡り、大滝が見えた。川幅いっぱい流れる立派な滝であった。

林道に出てしばらくすると県道が見えてきた。ここからは県道をひたすら”ぶなの湯”へ。途中川岸が広がっているところがあり、BBQをやっているグループが何組かいた。

丁度川に下りられるところに上手い具合に駐車スペースがある。今度は山でなくBBQをしに

来ようと冗談？を言いながら30分近く歩き”ぶなの湯”到着。CLは上ノ原の駐車したところに車を取りに行って頂いた。ご苦労様です。ゆっくり風呂に入り早めに帰途に。帰りはHさんの運転。疲れているでしょうにご苦労様でした。

今回のルートは静かで自然が豊かで結構イケました。秋に歩くのもいいようなところでした。



一軒屋  
避難小屋